



巻頭言

新年のご挨拶 病院長 /

よこやま のぼる
横山 登



新年おめでとうございます。2025年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。
新型コロナウイルス（COVID-19）が5類に移行してから1年7か月が経過し、観光客が再び日本を訪れる姿を目にすることができるようになり、心から喜ばしく思います。

昨年の2024パリオリンピック・パラリンピックの開催は、4年前に延期された2020東京オリンピック・パラリンピックを思い出させました。無観客での東京オリンピック・パラリンピックも特別なものでしたが、パリの盛り上がりを見ると通常開催できていればと少し残念な気持ちになります。しかし、今年は1970年の大阪万博以来約50年ぶりに大阪万博が開催されます。当時小学生だった私も、太陽の塔が印象に残っており、今回も多くの子供たちに夢を与える素晴らしいイベントになることを期待しています。

昨年、当院は二つの新たな取り組みを始めました。一つは少子化対策としてリプロダクション外来の開設、もう一つはロボット支援手術の導入です。これらの新規事業は順調に進み、多くの患者さんにご利用いただいております。

今年は、以下の二つの取り組みを進めてまいります。まず、新型コロナウイルス感染症拡大により延期されていた病児・病後児保育事業を1月14日から病院内に設置いたします。次に、紹介患者さんの受け入れ強化と近隣医療機関との連携を目指します。具体的には、各診療科の受け入れ態勢を見直し、早期受け入れの推進と「お断りゼロ」の実現に向けて、近隣医療機関の先生方と「二人主治医制」を強化してまいります。

今年は乙巳（きのとみ）の年で、成長と結実の可能性があると言われております。江東豊洲病院もさらに成長し、これまでの努力が実を結ぶ年になることを願い、職員一同、地域の皆様との連携を一層深めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



第129号のトピックス

- ・巻頭言（新年のご挨拶）
- ・病児・病後児保育室開設のお知らせ
- ・バルーンアートを寄贈いただきました
- ・臨床研修へのご協力をお願い
- ・江東区シーサイドマラソン大会 医療活動報告
- ・医療安全推進週間 活動報告
- ・ご意見・ご要望
- ・編集後記

病児・病後児保育室開設のお知らせ

令和7年1月14日に、病気の初期段階から対応可能な「病児・病後児保育施設」を、5階病棟に開設いたします。

病児・病後児保育事業とは

子育てと就労の両立支援の一環として、保育園等の保育施設に通っている乳幼児が、「病気」または「病気の回復期」等により、普段通っている保育施設での集団保育が難しい時期に、江東区が委託する当保育室で一時的にお子さんをお預かりする事業です。

保育室では、保育士および看護師がお子さんの体調に合わせた保育を行います。

お預かりできるおさんは

江東区に住所を有し、認可保育園、認定こども園（入園時に、保育の必要性の認定（2号、3号の支給認定）を受けているおさんのみ）、小規模認可保育園、江東区の定期利用保育、家庭的保育事業等、認証保育所、江東区の家庭福祉員及び児童福祉法第59条の2に基づく届け出を行っている認可外保育施設に月極めでおさんを預けている満1歳から就学前の乳幼児のうち、「入院治療の必要はないが、安静を必要とする状態」にあり、かつ「保護者が家庭で保育できないおさん」です。

なお、当保育室予約時や医師の診察でおさんの状況を確認した結果、受入困難と判断した場合にはご利用できないことがございますのであらかじめご了承ください。

施設名：昭和大学江東豊洲病院 病児・病後児保育室

運営：学校法人 昭和大学

住所：江東区豊洲5-1-38 昭和大学江東豊洲病院5階

開所日時：（月）～（金）9時00分～18時00分（予定）

（土日・祝祭日・年末年始（12月29日から1月3日）・創立記念日（11月15日）を除く）

定員：4名（満1歳～就学前の乳幼児）



Report

バルーンアートを寄贈いただきました

この度、「lucaemma 小児病棟支援プロジェクト」よりバルーンアートを寄贈いただきました。

いただいたlucaのバルーンアートは、こどもセンター病棟に飾り、入院中の子供たちの闘病意欲の励みになっております。お心遣いに、職員一同よりこの場をお借りして御礼申し上げます。

ご支援ありがとうございました。



臨床研修へのご協力をお願い

当院では、臨床研修病院として、医師免許取得後1年目・2年目の臨床研修医が指導医の監督のもと、外来・病棟で診察等を実施しています。

現在は25名(1年次13名、2年次12名)の臨床研修医が日々研鑽に励み、病院一丸となって臨床研修医の教育に積極的に取り組んでいます。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

【研修理念】

建学の精神「至誠一貫」の精神に基づき、「まごころの医療、安全・安心の医療、地域と連携する医療、医療人の育成、高度医療の推進」という当院の理念のもとで臨床研修を実践する。その中で、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般診療において頻繁に遭遇する負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につける。また、常に医療人としての品格と向上心を持ち、チーム医療を担う一員としての行動力・決断力・コミュニケーション能力・多職種連携医療を実践する能力を身につける。

【基本方針】

次のような資質を備えた医療人を育成する。

1.人間性豊かな医療人

豊かな人間性と幅広い教養を備え、深い倫理観と洞察力、生命の尊厳について、適切な理解と認識を持ち、基本的人権の尊重に努め、安全・安心な医療を最優先することができる。

2.医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人

医学、医療の全般にわたる広い視野と高い見識を持ち、常に科学的妥当性に基づきながら、将来の専門性に関わらず、すべての医師に求められるプライマリ・ケアを行うため、探求心を忘れず、知識・技能および態度を習得する。

3.チーム医療のできる医療人

多職種と連携を密にし、チーム医療の理解し推進に努め、将来的にはチーム医療を担うリーダーとしての役割を発揮する能力、医療安全管理を正しく理解し、安全で納得のいく医療が提供できる能力を養う。

江東シーサイドマラソン大会 医療活動報告

11月24日(日)に江東区夢の島競技場で行われた第42回江東シーサイドマラソン大会へ泌尿器科 森田将教授が派遣され、傷病者の医療救護活動を行いました。

参加者の転倒が何件もあり、救急車の出動もありましたが、大事には至らず大会は終了しました。



医療安全推進週間 活動報告

厚生労働省は、11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めております。今年度より「医療安全・感染管理合同」で、「患者・ご家族・職員参加型医療安全週間」をテーマに「11/24（日）～11/30（土）」の期間で取り組みました。

取り組み内容は

- ①職員から募った標語の掲示及び投票
- ②医療安全・感染管理に関するアンケート調査
- ③医療安全管理室・感染管理室の取組みの掲示
- ④体験コーナー
 - ・医療安全：ビデオ（医薬品副作用被害救済制度）
 - ・感染管理：手指消毒チェッカー

を行い、掲示場所及びGoogleフォームからの投票及び回答を実施しました。



医療安全推進週間の掲示物

今後、更なる医療安全文化の醸成（医療安全・感染管理合同で）に向けて取り組んで参りますので、医療安全管理室・感染管理室の活動に対しご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

ご意見・ご要望

感謝	回答
<p>退院時、担当の先生に詳しいお話を聞いて安心しました。 ありがとうございました。</p> 	<p>部署のスタッフ一同励みになるお言葉ありがとうございます。 他の医師も多くの方々に同じように思っていただけのように精進いたします。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：こどもセンター</p>

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は12月に入っても暖かい日が続き一昨年前と比べても秋を感じる時間が非常に短い年でした。12月に、あるゴルフ場に行きましたが日中の気温は16度以上と暖かく冬とは思えない気候でした。秋は短かったですが綺麗な紅葉を見ることができました。寒暖差が激しく体調管理が難しい気候でしたが、元気に新年をお迎えでしょうか？

本年の干支は“巳”で蛇を表します。逞しい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから医療、治療、再生のシンボルとされているそうです。2025年は、昭和大学江東豊洲病院が皆様の病気や怪我の診療・治療を適確に行い、健康的な生活に寄与できるよう努力してまいります。また、これまでの努力や準備が身を結び始める時期でもあるそうで、皆様にとって今までの努力が実り大きな成果が生まれる年になりますようお祈り申し上げます。

整形外科 / しらはた 白旗 としゆき 敏之



昭和大学江東豊洲病院 <https://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>
〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38
TEL03-6204-6000(代表)
発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ